



資料(図1、2とも)：平成17年までは総務省「国勢調査」、平成20年は県総務部「山形県の人口と世帯数」、総務省「人口推計」、平成22年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」(平成19年5月)、前期高齢者は65歳～74歳、後期高齢者は75歳以上をいう。

図3 (単位：人)

	特別養護老人ホーム	老人保健施設			認知症グループホーム	計	参酌標準(%)				
		地域密着型	広域型	計			計画	上乗せ後			
村山	4期計画	96	180	276	18	100	118	45	439	35.6	39.2
	上乗せ	87	390	477	29		29	54	560		
	計	183	570	753	47	100	147	99	999		
最上	4期計画	10	24	34				27	61	36.3	41.2
	上乗せ	15	60	75		100	100		175		
	計	25	84	109		100	100	27	236		
置賜	4期計画		55	55		129	129	72	256	39.9	42.1
	上乗せ	49	130	179		-20	-20		159		
	計	49	185	234		109	109	72	415		
庄内	4期計画	78		78	29		29	18	125	36.8	36.9
	上乗せ	58	24	82	58		58	27	167		
	計	136	24	160	87		87	45	292		
県計	4期計画	184	259	443	47	229	276	162	881	36.9	39.3
	上乗せ	209	604	813	87	80	167	81	1,061		
	計	393	863	1,256	134	309	443	243	1,942		

山形県における高齢者の現状と施設整備について

本県の高齢者人口(65歳以上人口)は、平成21年10月現在32万1,610人で、総人口に占める割合(高齢化率)は27.3%と前年比で0.5ポイント上昇しています。

これは、国の22.7%を4.6ポイント上回っており、島根県、秋田県、高知県、山口県に次いで全国5位の水準にあります。

7.5%となっています。

入所待機者数は、平成20年は7,321人で増加傾向にあります。平成20年における待機場所をみると、全体の約70%は施設・病院などに入所しています。また、在宅で待機している方は約2,400人で、このうち、特に施設サービスが求められる要介護4以上の方は、約700人となっています。

施設入所待機者の状況

平成22年5月現在、介護保険の第1号被保険者(65歳以上)は32万1,016人で、このうち要介護認定(要支援を含む)を受けた方は、5万6,123人(17.3%)です。

介護施設の整備については、昨年3月に策定された第4次介護保険事業支援

特別養護老人ホームなど待機者解消に向けた施設整備の取組み状況

介護施設の整備については、昨年3月に策定された第4次介護保険事業支援

寒河江市内における現在の施設整備予定

整備施設名(増築)	整備年度	増床数(床)
特別養護老人ホーム 長生園	平成22年度	20
認知症対応型共同生活介護 あしたば	平成22年度	9
特別養護老人ホーム しらいわ	平成23年度	30

計画に基づき計画的に進めることとなっております。

このような中、国の経済危機対策において、今期計画に加え、平成24年度からの次期計画以降の将来の整備分を前倒しして、長期的な視点で整備することができるようになりました。これを受け、市町村に対して施設整備の次期計画以降分の整備も含めて意向調査を実施し、平成21年から23年度の3年間で、今期計画分のほか、約1,000人分前倒しで重点的に施設整備が進められております。

本県の平成21年から23年度の3年間の整備済み及び整備予定は別表(図3)の通りです。

編集後記

このたびの報告書の内容は、県政に対する一般質問、寒河江管内の安全・安心、地域活性化のための社会資本整備、そして早急な整備が望まれている介護施設の整備に関して掲載させていただきました。

現在、全国的にゲリラ豪雨が発生するなど、天候不順による様々な被害が各地で発生しております。本市の特産品であるサクランボは、生産者皆様のご尽力により昨年比で県全体の生産量は増加したものの、日照不足や昼夜の寒暖差が少ないことなどにより、厳しい状況となっております。このような状況下で、吉村知事が韓国ソウルを訪問し、韓国最大の百貨店でトップセールスが行われ、サクランボの韓国への輸出について商談が持たれました。現在、本県で生産されたサクランボの輸出に向け準備が進められており、販路の拡大という観点で大変期待が持たれます。今後とも、様々な支援体制を構築しながら、生産者の皆様が意欲を持って農業に取り組めるよう努力してまいります。

また、喫緊の課題である景気・雇用情勢も、県執行部と一体となつてできる限り早期の回復に向けて努めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

今後の円滑な県政運営のため、皆様の貴重なご意見を要望などでもお寄せ下さい。

寒河江市元町3丁目3-3 大和ビル2F
〒991-0053 柁津博士事務所
TEL 0237-8417117
FAX 0237-8417118

※この報告書は自然保護のため再生紙を使用しております。